

■ 第2回 多摩川下流部水面等利用者協議会 議事要旨 (平成15年7月3日)

1. 現在の係留ゾーンで、堆砂の進行があり、そのため棧橋が冲出ししていく悪循環を招いているので、早急に浚渫の実施を検討していくべきである。
2. 今回のヒアリングは漁協関係者のみであり、プレジャーボート関係者にもヒアリングをする必要がある
3. 基本的にはマリンスポーツを含め、河川利用推進の立場から、不法係留を取締まる方向ではなく、受け皿づくりと秩序あるルールを守るための規制を併行的に進めていくことが重要である。
4. 行政と不法係留者との図式ではなく、不法係留に伴い被害を被っている一般の方々の声を受けた形で、問題を解決していく必要がある。
5. 現水面利用計画は、平成4年に策定された後、時間の経過が長く、現時点で水面利用計画の妥当性の検討が必要である。
6. 多摩川水面利用に伴う違法駐車問題を検討していく必要がある。